

### 第3回豊川市スポーツ振興計画（改訂版）策定委員会 会議録

・日 時 平成27年2月20日（金）午後2時00分～午後3時15分

・場 所 豊川市音羽文化ホール（3階）大会議室

・出席者

（策定委員）

伊藤委員長・浅野委員・杉浦委員・寺部委員・柴田委員・神谷委員

北国委員・荻野委員・壁谷委員・加藤委員

（事務局）

近藤教育部長・柴谷教育部次長

中村スポーツ課長・戸苅課長補佐・小木曾係長・山口主事

・欠席者 0名

・傍聴者 0名

#### 開 会

（事務局：戸苅課長補佐）

ただいまより、第3回豊川市スポーツ振興計画策定委員会を開催させていただきます。

なお、本委員会は、豊川市審議会等見える化ガイドラインの規定に基づき、公開により開催し、会議録につきましても後日公開されることを申し添えます。

#### 1 委員長あいさつ

（伊藤委員長：あいさつ）

お忙しい中、定刻までにお集まりいただき、誠にありがとうございます。今回で3回目の策定委員会となります。本日は、まとめをする会議となります。これまで、作業部会の部会員、策定委員の皆様方より多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

スポーツの意義、価値、役割は、改めて言うまでもありませんが、社会の変化にとともない、スポーツは我々の生活に欠かすことのできないものとなってきています。

みずほ総合研究所の研究発表では、2020年の東京オリンピックは、約36兆円の経済効果があると試算されており、スポーツが経済を動かし、経済がスポーツを動かしていくとのことでもあります。スポーツは、「する」だけでなく、「観

る」、「支える」など多様な関わり方があり、スポーツの歴史、意義、現代社会での役割などを踏まえて、生涯スポーツ社会の実現のために、設計、実践することが求められています。

本計画の「健康・仲間・人づくり！ 笑顔あふれる スポーツの盛んなまち豊川」のキャッチコピーを実現するために、この計画の中身は非常に重要であると思います。本日も多くの協議事項がありますが、皆様方よりご意見をいただき、本計画を完成させていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 2 協議事項

**(事務局：戸苅課長補佐)**

それでは、協議に入ります。本委員会設置要項第6条に基づき、議長は委員長が行うこととなっておりますので、伊藤委員長、会の取りまわしをよろしくお願いいたします。

## 2 協議事項

**(1) パブリックコメントの結果について** 資料1

**(事務局：小木曾係長)**

資料1により説明・提案

**(事務局：小木曾係長)**

本来なら、本日の会議資料は、事前に皆様のお手元に届くようにすべきでしたが、2月15日のパブリックコメントが終了してからでないと、資料の作成ができなかったことから当日配布とさせていただいた。

パブリックコメントの事務局における反省点として、今回は、スポーツに特化した計画であったため、資料の閲覧場所にスポーツ施設（総合体育館など）を設定しておけば、多くの方に見ていただけたのではないかと感じた。次回調査実施の際には考えていきたい。

また、意見1に対する市の考え方についての補足ですが、旧町（宝飯郡）地域では中学校区単位、旧豊川市地域では小学校区単位で校区体育振興会を中心に、地域のスポーツ振興を図ってきた経緯があるため、今後は、各地域の特性も考慮しながら、総合型地域スポーツクラブを設立・育成していきたいと考えている。

**(寺部委員)**

意見3について、私の住んでいる地域の地区市民館では光熱費等を支払うために、利用者より利用協力金をいただいている。今後も利用者は増えて行くことが想定されており、利用協力金が無料ということになると、管理運営する地区としては影響が大きい。

また、意見4について、コーラス、詩吟などはスポーツには含まれないのではないかと思う。文化とスポーツの分類、定義は異なると考えられるため、本計画内で示されている定義で十分であると感じる。

**(事務局：小木曾係長)**

スポーツの定義について部内でも検討したが、明確な定義をするのは難しい

と感じている。時代の流れにより、以前ではスポーツと言われていなかったものが、最近ではスポーツと認識されるようになってきている。他市の総合型地域スポーツクラブでも文化的な要素を含むものをスポーツと位置づけて、活動種目としている様子も見受けられる。

今後、意識調査を実施する際には、その時代に合った定義を再度考えながら、実施していきたい。

#### **(北国委員)**

意見1について、総合型地域スポーツクラブは、簡単に立ち上げられるものではなく、市民の意識変化が必要であり、それが一番難しいと感じる。新規のクラブ設立は、時間がかかるものである。ベースとなるものなどがあれば、クラブの立ち上げもスムーズであるが、各地域で総合型地域スポーツクラブの基盤となるものを考えていく必要があり、健康づくりの面で総合型地域スポーツクラブが適しているということを市民に周知する必要もある。

これらは、本計画の残りの5年間で全部できるような簡単なものではない。できれば、地域から「総合型地域スポーツクラブをつくりたい」との意見が出てきてくれるのを期待している。実際に音羽地区以外の地区でも、総合型地域スポーツクラブに対する認識が変わってきていると実感しているので、今後5年間でどのように変化があるか楽しみにしている。

今後は、総合型地域スポーツクラブの意識化が必要となってくるのではないかと。現在は総合型地域スポーツクラブを知らない人が多いが、健康への関心はみんな持っているため、総合型地域スポーツクラブを意識化していく方法を模索しながら、検討していく必要があると思う。

#### **(事務局：小木曾係長)**

スポーツ課としては、小坂井地区で新たにクラブを設立して行きたいと考えている。昨年度、関係者を集めて説明会等を行い、意見を収集した。小坂井地区では、総合型地域スポーツクラブに似たような活動、例えば生涯学習課所管の寺子屋教室などがある。クラブを立ち上げるための基盤はあるが、寺子屋教室と総合型地域スポーツクラブの位置づけを明らかにし、立ち上げていく必要がある。子どもの状況も見ながら、総合型地域スポーツクラブと寺子屋教室の事業の位置づけを生涯学習課と調整する必要がある。

また、国のスポーツ基本計画で、参加者が、自転車、徒歩等で行けるエリアであることや会費による自主運営を考えて、クラブ運営が成り立つ人口規模等を考慮し、クラブ設立については、中学校区で1クラブを目安としていることを基本に、本計画でも中学校区に1つの総合型地域スポーツクラブを立ち上げていきたいと考えている。しかしながら、先にも述べたとおり、これまで、旧豊川市地域では、小学校区単位でスポーツ振興を図ってきた経緯もあり、中学校区単位でのスポーツ振興になじみがなく、活動が少ない。逆に旧町（宝飯郡）地域は、合併まで中学校区単位でスポーツ振興が図られてきた。一宮地区で「わすぽ一宮」

を立ち上げられたのは、中学校区単位で体指クラブという総合型地域スポーツクラブに似た既存の活動があったためである。旧豊川市地域では、地域の特性に応じて、小学校区単位でのクラブ設立も考えていきたい。

**(伊藤委員長)**

これまでの5年間を検証し、今後の対応方法を考えておく必要がある。地域の特性を活かした方策を組み立てて行きながら、スポーツ振興を図る必要がある。

**(壁谷委員)**

意見1については、これからの大きな課題であると認識している。

**(浅野委員)**

意見4のスポーツの考え方について、コーラス、詩吟などはスポーツに入らないのではないかと思う。計画では、個々の種目名は明記できないので、本計画書に記載のとおりで良いのではないか。

**(杉浦委員)**

地域では、学校体育施設の開放を行っているが、それを一つにまとめれば総合型地域スポーツクラブを作りやすいのではないかと思う。それに加え、運営等を各地区にまかせていけば、より地元で根付いたクラブができるのではないか。

たとえば、親がバレーボールをやっている子どもは、バレーボールをやっていることが多いので、ママさんバレーボールクラブの活動と、子どもの活動を一緒の日、時間帯で行うなどして行けば、少しずつスポーツの輪が広がっていくのではないか。

ただし、誰がそれをまとめるかが一番大きな問題である。

**(柴田委員)**

意見2について、新たな施設を造るのは難しいと思うが、ウォーキングコースならコストも少なく済むのではないか。コースに名前を付けて紹介していくなどすれば、少しずつスポーツを行う人が増えていくと思う。

**(伊藤委員長)**

事務局で、公民館と市民館の状況について把握しているか。

**(事務局：小木曾係長)**

所管部署等にも確認したが、地区市民館は、地元自治会で組織されている地区市民館運営委員会が管理しており、公民館（生涯学習課所管）は、市が管理している。

地区市民館の使用料は全館無料であるが、管理する地区によって光熱費等を利用協力金という形で徴収しているところも多くある。この利用協力金は、地区によっても異なっており、地区市民館の運営に大きく関わっているため、難しい問題であると思われる。

**(神谷委員)**

意見3について、使用に伴う費用負担は、施設を維持していくために、ある程度は必要であると思う。

総合型地域スポーツクラブについて、活動の拠点となる施設が少なく、立ち上げられない地域もあるのではないかと感じる。

**(寺部委員)**

意見2について、蒲郡市の「ユトリーナ」(クリーンセンターの焼却熱の余熱を館内の給湯、冷暖房熱源に有効利用している)は、料金も安く利用できて良い施設だと思うので、参考にしてみるのも良い。

**(伊藤委員長)**

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

他にご意見等ないようですので、(1)パブリックコメントの結果について、承認していただける委員は拍手をお願いします。 ⇒ 承認

**(2) 豊川市のスポーツに関する市民意識調査報告書(最終案)について**

**資料2**

**(事務局：小木曾係長)**

資料2により説明・提案

パブリックコメント実施の資料からは大きな変更点はなし。ただし、言い回し、語句等についての修正はさせていただいている。

**(伊藤委員長)**

特に意見等もないようですので、(2)豊川市のスポーツに関する市民意識調査報告書(最終案)について、承認していただける委員は拍手をお願いします。

⇒ 承認

**(3) 小学生の運動・スポーツ活動に関するアンケート調査報告書(最終案)について**

**資料3**

**(事務局：小木曾係長)**

資料3により説明・提案

前回の委員会で北国委員よりご指摘をいただいた、資料3の3ページの間8の考察について、委員会終了後、伊藤委員長、北国委員とも調整させていただき、記述を修正し、パブリックコメントを実施した。

総合型地域スポーツクラブの認知度が低い中で、クラブが「健康づくり、仲間づくり、人づくり」ができるような良いものであるという事を説明しながら、PRしていきたいという主旨で修正したものである。

その他、表中の人数・件数の表記に誤りがあった箇所について、修正している。

**(伊藤委員長)**

特に意見等もないようですので、(3)小学生の運動・スポーツ活動に関するアンケート調査報告書(最終案)について、承認していただける委員は拍手をお願いします。 ⇒ 承認

#### (4) 豊川市スポーツ振興計画(改訂版)(最終案)について

##### 資料4-1・4-2

##### (事務局：小木曾係長)

資料4-1及び4-2により説明・提案

パブリックコメント後における資料4-1の主な修正点については、資料4-3のとおり。

「する」、「観る」、「支える」スポーツの基本方針(目標数値)について、成人市民を対象として実施した意識調査の結果(数値)を基にして設定していることから、よりわかりやすい計画とするべく、「市民」を「成人市民」に修正。また、あわせて関連する言い回し、語句等の修正を行っている。

さらに、計画書全体を見渡しつつ、言い回しの統一や語句等の修正も行っている。なお、本計画については、資料4-2のとおり概要版も作成した。

##### (寺部委員)

成人とは何歳から何歳までか。

##### (事務局：小木曾係長)

20歳以上の全ての方を指している。

##### (伊藤委員長)

計画書(案)の51ページの年次計画の「スポーツ指導者・スポーツボランティアの活動率」ですが、当初の計画から平成26年度の目標値の記載はなかったのか。

##### (事務局：小木曾係長)

前回の委員会においても説明をさせていただいたが、当初の計画では「登録率」としていたが、今回の見直しにおいて目指す目標に直結した「活動率」に修正をさせていただいた。このことから、平成26年度については、「活動率」の実績値のみを表記している。

なお、最終目標値は、当初計画の平成31年度の目標値(10%)から変更はない。

##### (伊藤委員長)

皆様より貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

他にご意見等ないようですので、(4)豊川市スポーツ振興計画(改訂版)(最終案)について、承認していただける委員は拍手をお願いします。⇒承認

#### (5) 今後のスケジュールについて 資料4-1

##### (事務局：小木曾係長)

資料4-1の65ページにより説明

##### (伊藤委員長)

今後、3月下旬の公表に向けて事務局にて作業を進めていくので、ご承知おきいただきたい。

## **(6) その他**

### **(事務局：中村課長)**

皆様のご協力により、計画書・報告書が3月末までに公表の見込みとなりました。策定委員会において、貴重なご意見等をいただきまして、誠にありがとうございました。

### **(事務局：小木曾係長)**

公表の際、皆様方には改めて計画書・報告書をお渡しさせていただきます。

### **(伊藤委員長)**

皆様のおかげで、スムーズな議事、協議を進行することができました。ありがとうございました。

本計画は公表した後、いかにそれを実現していくかが大切だと思います。スポーツ課だけでなく関係部署、団体等とも連携・協力を図りつつ、今後とも皆様方のご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

## **3 その他**

### **(事務局：戸苅課長補佐)**

その他、本日の協議事項以外で皆様方より何かございますか。

### **(杉浦委員)**

スポーツ少年団の紹介を各小学校でしていただきたい。

各小学校に該当地域の少年団へ入団しやすくなるように、案内チラシ等の掲示について、学校の掲示板を利用させていただければありがたい。児童の目につけば、友達を誘って入団する児童も増えてくるのではないかと思う。

広報・チラシ配布だけでは、保護者や子どもの目に触れる機会も少ないと感じている。

### **(事務局：戸苅課長補佐)**

貴重なご意見ありがとうございます。

これからの子どものスポーツの取り組みは重要だと感じております。事務局といたしましては、学校とも連携を図りながら、対応していきたいと考えています。

最後となりましたが、事務局を代表いたしまして近藤教育部長がお礼のあいさつを申し述べます。

### **(事務局：近藤教育部長 お礼を兼ねてあいさつ)**

## **閉会**

### **(事務局：戸苅課長補佐)**

以上で、第3回豊川市スポーツ振興計画（改訂版）策定委員会を終了させていただきます。大変ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。